

2014ジュニアニュースNo.1

2013/12/9現在

第1号 (社)全日本ジュニア体操クラブ連盟

発行日:平成26年1月24日(金)

発行所:東京都中央区日本橋1-16-6 久富ビル4階

Tel:03(3281)7788

「2014ジュニアニュースNo.1」をお届けいたします。

指導者の皆様におかれましてはご確認よろしくお願い申し上げます。

今回の連絡事項は下記のとおりです。

1. (公財)日本体操協会「平成26年度事業計画」について
2. 2014東西・全日本ジュニア大会要項(案)及び器具寸度表について
3. 2013体操競技女子採点規則修正の通知(2014年1月版)について

1. (公財)日本体操協会「平成26年度事業計画」について

(公財)日本体操協会「平成26年度事業計画」をご連絡申し上げます。

なお、同協会の事業計画の日程は、原則として開会式、会議、練習など競技以外の日程を除いて作成されています。当連盟の西日本ジュニア大会は7月22日(火)、東日本ジュニア大会は7月25日(金)に会場練習、リーダー会議等が開催される予定ですのでご注意ください。

併せて、この事業計画は随時更新されていますので、詳しくは下記(公財)日本体操協会公式ホームページをご確認ください。<http://www.jpn-gym.or.jp/wp-content/uploads/2013/12/2014JGA.pdf>

2. 2014東西・全日本ジュニア大会要項(案)及び器具寸度表について

2014年に開催する東西・全日本ジュニア大会の要項(案)を掲載していますのでご確認をお願いいたします。昨年と大きく変更する部分は女子Cクラスの導入に伴う変更、男子選手権1部シードに関して、チーム・個人・補欠に関してです。変更部分は網掛けになっていますのでご確認ください。

その他各大会要項につきましては今後も変更がある場合がございます。ご了承ください。

※全日本ジュニア選手権大会要項内全日本選手権大会への出場資格については、

(公財)日本体操協会の出場基準が決定次第、別添資料として要項に追加されます。

3. 2013体操競技女子採点規則修正の通知(2014年1月版)について

(公財)日本体操協会より「2013体操競技女子採点規則修正の通知」(2014年1月版)が発表されました。大変重要ですのでご確認ください。2014年1月より採用されます。

詳しくは(公財)日本体操協会公式ホームページをご確認ください。

http://www.jpn-gym.or.jp/wp-content/uploads/2013/12/13awcp_revise01.pdf

平成26年度(公財)日本体操協会事業計画

2014		大会名	場所						
4	5	土	~	4	6	日	体	2014FIG個人総合ワールドカップ・東京大会	東京体育館
4	10	木	~	4	13	日	体	第13回アジアジュニア体操競技選手権大会	ウズベキスタン・タシケント
4	12	土	~	4	13	日	エ	スズキワールドカップ2014	大田区総合体育館
5	9	金	~	5	11	日	体	第68回全日本体操競技選手権大会(体操天皇杯第68回全日本体操個人総合選手権)	代々木第一体育館
5	16	金	~	5	18	日	ト	第1回全日本トランポリン競技年齢別選手権大会 第30回世界選手権1次選考会兼アジア大会代表選考会 兼第23回世界年齢別大会選考会	群馬県前橋市宮城体育館
5	21	水	~	5	23	金	ト	第3回アジアトランポリン選手権大会	タイ・バンコク
5	30	金	~	6	1	日	新	第12回全日本新体操ユースチャンピオンシップ/第5回男子新体操団体選手権大会	東京体育館
6	7	土	~	6	8	日	体	第53回NHK杯体操	代々木第一体育館
6	22	日	~	6	23	月	一	一般体操コンテスト	代々木第二体育館
7	5	土	~	7	6	日	体	第68回全日本体操競技種目別選手権大会(第68回全日本体操種目別選手権)	千葉ポートアリーナ
7	5	土	~	7	6	日	ト	第30回世界選手権最終選考会兼アジア大会代表決定選考会	千葉ポートアリーナ
7	22	火	~	7	26	土	体	2014西日本ジュニア体操競技選手権大会	和歌山ビッグホエール
7	25	金	~	7	29	火	体	2014東日本ジュニア体操競技選手権大会	八戸市体育館
7	24	木	~	7	27	日	ト	第42回全日本ジュニアトランポリン競技選手権大会	北海道札幌市
8	2	土	~	8	4	月	体	全国高校総体(体操競技)	代々木第一体育館
8	8	金	~	8	9	土	新	全国高校総体(新体操)	代々木第一体育館
8	8	金	~	8	10	日	ト	第39回全国高等学校トランポリン選手権大会	大阪府熊取町 ひまわりドーム
8	12	火	~	8	17	日	体	2014全日本ジュニア体操競技選手権大会	横浜文化体育館
8	16	土	~	8	28	木	体新	第2回ユースオリンピック	中国・南京
8	18	月	~	8	20	水	新	第45回全国中学校体育大会(新体操)	香川・高松
8	20	水	~	8	22	金	体	第68回全日本学生体操競技選手権大会	山口・総合百年記念公園
8	23	土	~	8	25	月	新	第23回全日本新体操クラブ選手権大会	千葉・千葉ポートアリーナ
8	23	土	~	8	25	月	体	第45回全国中学校体育大会(体操競技)	愛媛・松山
8	27	水	~	8	29	金	新	第68回全日本学生新体操選手権大会	栃木県立県南体育館
8	29	金	~	8	31	日	ト	第49回全日本学生トランポリン選手権大会	大阪府熊取町 ひまわりドーム
9	6	土	~	9	7	日	新	第14回全日本新体操クラブ団体選手権大会	東京体育館
9	13	土	~	9	14	日	ア	第25回全日本スポーツアクトロ体操選手権大会	国士舘大学体育館
9	13	土	~	9	15	月	体	全日本社会人選手権大会(体操競技)	北九州市立総合体育館
9	17	水	~	10	4	土	体新	第17回アジア競技大会	韓国・インチョン
9	21	日	~	9	28	日	新	第33回世界新体操選手権大会	トルコ・イズミール
10	3	金	~	10	12	日	体	第45回世界体操競技選手権大会	中国・南京
10	4	土	~	10	5	日	新	全日本社会人選手権大会(新体操)	松本市総合体育館
10	13	月	~	10	16	木	体	第69回国民体育大会(体操競技)	長崎県立総合体育館メインアリーナ
10	17	金	~	10	19	日	新	イオンカップ世界新体操クラブ選手権大会	東京体育館
10	19	日	~	10	20	月	新	第69回国民体育大会(新体操)	西海市大瀬戸総合運動公園体育館
10	24	金	~	10	26	日	新	第32回全日本ジュニア新体操選手権大会	代々木第一体育館
11	1	土	~	11	2	日	体	第68回全日本体操競技団体選手権大会	代々木第一体育館
11	6	日	~	11	9	日	ト	第30回世界トランポリン競技選手権大会	アメリカ・マイアミ
11	13	日	~	11	16	日	ト	第23回世界トランポリン競技年齢別大会	アメリカ・マイアミ
11	14	金	~	11	16	日	新	第67回全日本新体操選手権大会	代々木第一体育館
未定							体	第9回全国ブロック選抜U-12体操競技選手権大会	未定
11	23	日	~	11	24	月	一	2014日本体操祭	代々木第一体育館
11	28	金	~	11	30	日	ト	第51回全日本トランポリン選手権大会	静岡県島田市 ローズアリーナ
							体	豊田国際体操競技大会	愛知・豊田市総合体育館
12	19	金	~	12	21	日	ト	川崎市長杯川崎ジャパンオープン国際大会兼JOCジュニアオリンピックカップ	神奈川県川崎市とどろきアリーナ
				2015					
2	20	金	~	2	22	日	新	全日本新体操チャイルド選手権大会	東京体育館
3	7	土	~	3	8	日	ト	第12回ダブルミニトランポリン・タンプリング競技選手権大会	静岡県静岡市静岡産業大学
3	21	土	~	3	22	日	新	第30回全国高校新体操選抜大会	広島グリーンアリーナ
3	24	火	~	3	25	日	体	第31回全国高校体操競技選抜大会	広島グリーンアリーナ
3	26	木	~	3	28	土	体新	第15回全国体操小学生大会	大洗町総合運動公園体育館

※事業計画は変更の可能性があります。ご注意ください。
※日程は原則として開会式、会議、練習など、競技以外の日程を除いています。

～26年度 男子器械種目寸度表～

□選手権1部(中学2年～高校3年) □選手権2部(中学1年～高校3年)

器械種目	床面からの高さ	マットの高さ
あん馬	1m15cm～1m16cm	10cm
つり輪 鉄棒	2m80cm	20cm
跳馬	1m35cm	20cm
平行棒	1m90cm	12cm
	2m00cm	20cm

□Aクラス(小学5年～中学3年)

器械種目	床面からの高さ	マットの高さ
あん馬	1m15cm	10cm
つり輪	2m65cm	20cm
跳馬	1m25cm	20cm
平行棒	1m85cm	12cm
	1m95cm	20cm
鉄棒	2m75cm	20cm

□Bクラス(小学1年～小学6年)

器械種目	床面からの高さ	マットの高さ
あん馬	1m15cm <small>※身長の高い選手に対し、飛びつき台を別途用意する。</small>	10cm
つり輪	2m65cm	20cm
跳馬	1m10cm	20cm
平行棒	1m65cm	12cm
	1m75cm	20cm
鉄棒	2m65cm	20cm

*一般認定器具で高さ165cm、両棒間の幅調節ができるものがあれば良い。(設置の際は業者に確認)

※女子Bクラス跳馬について

7月に各クラブにお配り致しました資料には、跳馬の高さを120cm、着地部分を140cmとお伝えしておりましたが、選手の身長、体重等を踏まえ検討した結果、跳馬の高さを110cmに変更致しました事をご連絡いたします。

～26年度 女子器械種目寸度表～

□選手権1部(小学6年～高校3年) □選手権2部(中学3年～高校3年)

□Aクラス(小学5年～中学3年)

器械種目	床面からの高さ	マットの高さ
跳馬	1m25cm	20cm
段違い	低棒 1m65cm	12cm
	高棒 2m45cm	
	バー間隔 最大 1m80cm	20cm
	低棒 1m70cm	
高棒 2m50cm	12cm	
バー間隔 最大 1m80cm		
平均台	1m20cm	12cm
	1m25cm	20cm

(1)ゆかを除く3種目では最大10cm程度の着地マットを使用しなければならない。(本会場3枚、練習会場3枚)

□Bクラス(小学3年～小学6年)(一部規定演技を含む自由演技)

□Cクラス(小学1年～小学6年)(旧Bクラス規定演技)

器械種目	床面からの高さ	マットの高さ
跳馬	1m10cm	20cm
段違い	低棒 1m65cm	12cm
	高棒 2m45cm	
	バー間隔 最大 1m80cm	20cm
	低棒 1m65cm	
高棒 2m45cm	12cm	
バー間隔 最大 1m80cm		
平均台	1m20cm	12cm
	1m25cm	20cm

※Bクラス跳馬について

跳馬	床面からの高さ	着地マットについて
	1m10cm	着地面より1m30cm 10cmのピタリマット



設置案1 : 幅200cm 長さ600cm 高さ100cmの補助台もしくはそれに準じた台を設置し、その上に通常の跳馬用着地マット(200x600x20)を設置しその上にピタリマット(200x600x10)を設置する。

設置案2 : 着地マット(200x600x20)を2×5枚敷き100cmの高さの着地スペースを設営、その上に通常の着地マット、ピタリマット(200x600x10)を設置する。

設置案3 : 幅200cm 長さ600cm 高さ100cmのポディウムに準ずる台(セノーもしくは会場設営業者※各開催地手配)を設置し、その上に通常の跳馬用着地マットを設置し、その上にピタリマット(200x600x10)を設置する。

2014西日本ジュニア体操競技選手権大会要項(案)

主催 社団法人 全日本ジュニア体操クラブ連盟
 主管 和歌山県体操協会
 後援 公益財団法人 日本体操協会

協賛
 協力

1. 期 日
 平成26年 7月22日(火)セッティング 本会場練習 リーダー会議
 23日(水)審判会議 開始式 男子Bクラス競技(1日目)女子C/Bクラス
 24日(木)男子Bクラス競技(2日目)女子C/Bクラス 男子円馬決勝大会 C/Bクラス表彰式
 25日(金)男女Aクラス競技(1日目)
 26日(土)男女Aクラス競技(2日目) Aクラス表彰式 閉会式
※女子C/Bクラスの参加人数によって日程が変更することがあります。
2. 大会会場 〒640-8319 和歌山県和歌山市手平2丁目1-1
 和歌山ビッグホエール TEL 073-433-0035

3. 練習会場 なし

4. 参加資格

区分	男子	女子
年会費	平成26年度の年会費を完納したクラブ	
登録	当連盟に26年度の登録を済ませた者	
Aクラス	①小学校5年～中学校3年まで ②1団体最大6名(A・Bクラスで合計12名)	Aクラス ①小学校5年～中学校3年まで ②1団体最大6名
Bクラス	①小学校1年～小学校6年まで ②1団体最大6名(A・Bクラスで合計12名)	Bクラス ①小学校3年～小学校6年まで ②B・Cクラスで合計6名
円馬	①小学校6年生以下の男子(Bクラスと兼ねても単独でも出場可) * Aクラス出場者は除く。	Cクラス ①小学校1年～小学校6年まで ②B・Cクラスで合計6名
その他	①A・B・Cクラスに参加する者は、前年度迄に全日本ジュニア体操競技選手権大会(選手権の部)に出場した者を除く。 ②保護者または医師の承諾を得ること。	

5. 競技方法

※すべてに於いて「FIG版競技規則」に準ずる

区分	男子	女子
Aクラス	①男子ジュニア規定演技[レベル1] ②花丸ルール適用	Aクラス ①ジュニア連盟女子Aクラス採点規則(2013年版変更規則Ⅱを適用) 個人総合・種目別を決定する。 ②花丸ルール適用(*)
Bクラス	①男子ジュニア規定演技[レベル3] ②あん馬は「あん馬1」を採用 ③花丸ルール適用	Bクラス ①ジュニア連盟女子Bクラス採点規則(2013年版変更規則Ⅱ、一部変更して適用) 個人総合・種目別を決定する。 ②花丸ルール適用(*)
円馬1	①旋回20回(閉脚10回+開脚10回)の大きさ、美しさの質で順位を決定する。	Cクラス ①ジュニア連盟女子旧Bクラス規定演技を採用し、個人総合・種目別を決定する。ジュニア連盟旧Bクラス採点規則改訂版を適用する。 ②花丸ルール適用(*)
円馬2	①旋回の回数を競う。試技は最大2回 * 但し、5回以下の者に対してのみ。 ②2回試技を行った者は2回目を有効とする。	

(*)花丸ルール/E得点賞
 ・A/BクラスEスコア8.5以上の演技に対して花丸を与える。
 ・Cクラスは旧Bクラス規定演技の花丸ルールを適用する。
 ・E得点賞:各E審判員が算出した合計の平均点の上位3位の得点を獲得した選手に与える

6. 器具基準 添付資料参照のこと。

7. 着地マットの使用について 添付資料参照のこと。

8. 2014全日本ジュニア体操競技選手権大会(決勝大会)の出場資格について

出場資格と競技内容			
区分	男子		女子
Aクラス	①東西上位各30名 ②中体連採用規則に準ずる自由演技6種目 * 禁止技は高等学校適用規則に準ずる。 ③花丸ルール適用	Aクラス	①東西上位各30名 ②ルールについては東西大会と同じ。 ③花丸ルール適用
Bクラス	①東西上位各30名 ②ルールについては東西大会と同じ。 ③花丸ルール適用	Bクラス	①東西上位各15名 ②ルールについては東西大会と同じ。 ③花丸ルール適用
	X		Cクラス ①東西上位各15名 ②ルールについては東西大会と同じ。 ③花丸ルール適用
その他	該当クラブは大会終了後、決勝大会のエントリーをしなければならない。 エントリーをしない選手は棄権とみなし、次の選手を繰り上げる。		

9. 表彰について

- ・すべてのクラス/個人総合・種目別ともに1～3位にメダルと賞状、4～6位に賞状が与えられる。
- ・(男子)円馬大会1/1～3位にメダルと賞状、4～6位に賞状が与えられる。
- ・(男子)円馬大会2/出場者のうち100回以上の選手に認定書が与えられる。
- ・(女子)E得点賞/E得点の上位1位～3位の得点を獲得した選手に賞状が与えられる。(A・Bクラス)

10. 参加料について

- ・A・B・Cクラス /1名につき ¥10,000
- ・円馬大会 /1名につき ¥3,000 (Bクラスに出場する選手は無料)

11. 申込締切について

- ①参加申込書に必要事項を記入の上、参加料を添えて6月 日()までに必着のこと。

詳細が決定次第記入致します

12. 申込先

〒000-0000 和歌山県和歌山市〇〇〇〇-〇-〇 TEL000-000-0000
 〇〇〇〇 宛
 送信先アドレス E-mail 〇〇〇@〇〇〇〇
 振込先口座番号 〇〇銀行 〇〇支店 普通 xxxxxxxxx 和歌山県体操協会

13. 抽選関係

平成26年6月 〇日(〇)

14. その他

- ①参加料はその理由の如何を問わず返金しない。
- ②大会期間中に発生した傷害については、その責任をスポーツ傷害保険の範囲内とする。
- ③参加申込書が不足した場合は各自コピーして補充すること。
- ④クラブ旗は各クラブとも1枚のみ掲揚できる。
- ⑤アリーナに入る監督、コーチは必ずクラブのユニフォームを着用のこと。
- ⑥全日本ジュニア体操競技選手権大会の出場資格を取得した選手の該当クラブは、大会終了後のエントリーを必ず完了しなければならない。辞退した場合は時点の選手が繰り上がる。
- ⑦参加選手のゼッケンはリーダー会議の際に本部から手渡される。
- ⑧参加者数の増減により日程に多少の変更が生じる場合があるのでご了承ください。

「個人情報保護について」

本大会にて収集する個人情報は、本法人の個人情報保護宣言を遵守します。
 収集した個人情報は、本大会の運営に必要となる参加者の確認と参加クラブとの連絡、大会プログラム(選手名・クラブ名・学年・クラブ連絡先)及び本法人ホームページ(大会結果)に使用し、それ以外の目的には使用しません。

2014東日本ジュニア体操競技選手権大会要項(案)

主催 社団法人 全日本ジュニア体操クラブ連盟
 主管 八戸市体操協会
 後援 公益財団法人 日本体操協会

協賛
 協力

1. 期 日
 平成26年 7月25日(金)セッティング 本会場練習 リーダー会議
 26日(土)審判会議 開始式 男子Bクラス競技(1日目)女子C/Bクラス
 27日(日)男子Bクラス競技(2日目)女子C/Bクラス 男子円馬決勝大会 C/Bクラス表彰式
 28日(月)男女Aクラス競技(1日目)
 29日(火)男女Aクラス競技(2日目) Aクラス表彰式 閉会式

※女子C/Bクラスの参加人数によって日程が変更することがあります。

2. 大会会場 〒031-0073 青森県八戸市売市與遊下3 長根公園内
 八戸市体育館 Tel 0178-22-7181

3. 練習会場 なし

4. 参加資格

区分	男子	女子
年会費	平成26年度の年会費を完納したクラブ	
登録	当連盟に26年度の登録を済ませた者	
Aクラス	①小学校5年～中学校3年まで ②1団体最大6名(A・Bクラスで合計12名)	Aクラス ①小学校5年～中学校3年まで ②1団体最大6名
Bクラス	①小学校1年～小学校6年まで ②1団体最大6名(A・Bクラスで合計12名)	Bクラス ①小学校3年～小学校6年まで ②B・Cクラスで合計6名
円馬	①小学校6年生以下の男子(Bクラスと兼ねても単独でも出場可) * Aクラス出場者は除く。	Cクラス ①小学校1年～小学校6年まで ②B・Cクラスで合計6名
その他	①A・B・Cクラスに参加する者は、前年度迄に全日本ジュニア体操競技選手権大会(選手権の部)に出場した者を除く。 ②保護者または医師の承諾を得ること。	

5. 競技方法 ※すべてに於いて「FIG版競技規則」に準ずる

区分	男子	女子
Aクラス	①男子ジュニア規定演技[レベル1] ②花丸ルール適用	Aクラス ①ジュニア連盟女子Aクラス採点規則(2013年版変更規則Ⅱを適用) 個人総合・種目別を決定する。 ②花丸ルール適用(*)
Bクラス	①男子ジュニア規定演技[レベル3] ②あん馬は「あん馬1」を採用 ③花丸ルール適用	Bクラス ①ジュニア連盟女子Bクラス採点規則(2013年版変更規則Ⅱ、一部変更して適用) 個人総合・種目別を決定する。 ②花丸ルール適用(*)
円馬1	①旋回20回(閉脚10回+開脚10回)の大きさ、美しさの質で順位を決定する。	Cクラス ①ジュニア連盟女子旧Bクラス規定演技を採用し、個人総合・種目別を決定する。ジュニア連盟旧Bクラス採点規則改訂版を適用する。 ②花丸ルール適用(*)
円馬2	①旋回の回数を競う。試技は最大2回 * 但し、5回以下の者に対してのみ。 ②2回試技を行った者は2回目を有効とする。	

(*)花丸ルール/E得点賞
 ・A/BクラスEスコア8.5以上の演技に対して花丸を与える。
 ・Cクラスは旧Bクラス規定演技の花丸ルールを適用する。
 ・E得点賞:各E審判員が算出した合計の平均点の上位3位の得点を獲得した選手に与える。

6. 器具基準 添付資料参照のこと。

7. 着地マットの使用について 添付資料参照のこと。

8. 2014全日本ジュニア体操競技選手権大会(決勝大会)の出場資格について

出場資格と競技内容			
区分	男子		女子
Aクラス	①東西上位各30名 ②中体連採用規則に準ずる自由演技6種目 * 禁止技は高等学校適用規則に準ずる。 ③花丸ルール適用	Aクラス	①東西上位各30名 ②ルールについては東西大会と同じ。 ③花丸ルール適用
Bクラス	①東西上位各30名 ②ルールについては東西大会と同じ。 ③花丸ルール適用	Bクラス	①東西上位各15名 ②ルールについては東西大会と同じ。 ③花丸ルール適用
		Cクラス	①東西上位各15名 ②ルールについては東西大会と同じ。 ③花丸ルール適用
その他	該当クラブは大会終了後、決勝大会のエントリーをしなければならない。 エントリーをしない選手は棄権とみなし、次の選手を繰り上げる。		

9. 表彰について

- すべてのクラス/個人総合・種目別ともに1～3位にメダルと賞状、4～6位に賞状が与えられる。
- (男子)円馬大会1/1～3位にメダルと賞状、4～6位に賞状が与えられる。
- (男子)円馬大会2/出場者のうち100回以上の選手に認定書が与えられる。
- (女子)E得点賞/E得点の上位1位～3位の得点を獲得した選手に賞状が与えられる。(A・Bクラス)

10. 参加料について

- A・B・Cクラス /1名につき ¥10,000
- 円馬大会 /1名につき ¥3,000 (Bクラスに出場する選手は無料)

11. 申込締切について

- ①参加申込書に必要事項を記入の上、参加料を添えて6月 日()までに必着のこと。

詳細が決定次第記入致します

12. 申込先

〒000-0000 青森県八戸市〇〇〇〇-〇-〇 Tel000-000-0000

〇〇〇〇 宛

送信先アドレス E-mail 〇〇〇@〇〇〇〇

振込先口座番号 〇〇銀行 〇〇支店 普通 xxxxxxxxx 青森県体操協会

13. 抽選関係

平成26年6月 〇日(〇)

14. その他

- ①参加料はその理由の如何を問わず返金しない。
- ②大会期間中に発生した傷害については、その責任をスポーツ傷害保険の範囲内とする。
- ③参加申込書が不足した場合は各自コピーして補充すること。
- ④クラブ旗は各クラブとも1枚のみ掲揚できる。
- ⑤アリーナに入る監督、コーチは必ずクラブのユニフォームを着用のこと。
- ⑥全日本ジュニア体操競技選手権大会の出場資格を取得した選手の該当クラブは、大会終了後のエントリーを必ず完了しなければならない。辞退した場合は時点の選手が繰り上がる。
- ⑦参加選手のゼッケンはリーダー会議の際に本部から手渡される。
- ⑧参加者数の増減により日程に多少の変更が生じる場合があるのでご了承ください。

「個人情報保護について」

本大会にて収集する個人情報は、本法人の個人情報保護宣言を遵守します。

収集した個人情報は、本大会の運営に必要となる参加者の確認と参加クラブとの連絡、大会プログラム(選手名・クラブ名・学年・クラブ連絡先)及び本法人ホームページ(大会結果)に使用し、それ以外の目的には使用しません。

2014全日本ジュニア体操競技選手権大会 —東西ABクラス決勝大会要項—(案)

主催 (社)全日本ジュニア体操クラブ連盟 (公財)日本体操協会
 主管 神奈川県体操協会 横浜市体操協会
 後援 文部科学省 (公財)日本オリンピック委員会 横浜市 (公財)横浜市体育協会
 (一財)上月財団
 協賛 (株)ササキスポーツ セノー(株) コカ・コーラ セントラル ジャパン(株)
 リコージャパン(株)

1. 期 日 平成26年8月12日(火) 決勝大会リーダー会議及び審判会議 決勝大会開会式
 女子C/Bクラス、男子Bクラス決勝大会
 13日(水) 男女Aクラス決勝大会 決勝大会表彰式

2. 大会会場 〒231-0032 神奈川県横浜市中区不老町2-7 横浜文化体育館 ☎045-641-5741

3. 参加資格

区 分	男 子	女 子
年 会 費	平成26年度の年会費を完納したクラブ	
登 録	当連盟に26年度の登録を済ませた者	
Aクラス決勝	2014東西ジュニア出場者の上位各30名	2014東西ジュニア出場者の上位各30名
Bクラス決勝	2014東西ジュニア出場者の上位各30名	2014東西ジュニア出場者の上位各15名
Cクラス決勝	2014東西ジュニア出場者の上位各15名	

4. 適用規則及び競技方法

※すべてに於いて「FIG競技規則」に準ずる

区 分	男 子	女 子
Aクラス決勝	①自由演技(中体連適用規則に準ずる)を適用し、個人総合・種目別を決定する。 ②花丸ルール適用 ③禁止技は高等学校適用規則に準ずる。	①ジュニア連盟女子Aクラス採点規則(2013年版変更規則Ⅱを適用)個人総合・種目別を決定する。 ②花丸ルール適用(*)
Bクラス決勝	①男子ジュニア規定演技[レベル3]を採用し、個人総合・種目別を決定する。 ②あん馬は「あん馬2」を採用 ③花丸ルール適用	①ジュニア連盟女子Bクラス採点規則(2013年版変更規則Ⅱ、一部変更して適用)個人総合・種目別を決定する。 ②花丸ルール適用(*)
Cクラス決勝		①ジュニア連盟女子旧Bクラス規定演技を採用し、個人総合・種目別を決定する。 ジュニア連盟旧Bクラス採点規則改訂版を適用する。 ②花丸ルール適用(*)

(*)花丸ルール/E得点賞

- ◆A/BクラスEスコア8.5以上の演技に対して花丸を与える
- ◆Cクラスは旧Bクラス規定演技の花丸ルールを適用する。
- ◆E得点賞:各E審判員が算出した合計の平均点の上位3位の得点を獲得した選手に与える。

5. 器具基準 別添資料参照のこと。

6. 着地マットの使用について 別添資料参照のこと。

7. 表 彰 個人総合種目別とも 1~3位/メダル・賞状及び副賞
 4~6位/賞状及び副賞

E得点賞(女子A/Bクラス)E得点の上位1位~3位の得点を獲得した選手に賞状

8. 申込締切 東西ジュニア選手権大会終了後、出場資格者名簿が大会会場にて発表され、参加団体に参加申込書が渡される。
 参加団体の責任者は申込書に必要事項を明記し、参加料を添えて同会場にて申し込むこと。以後は受け付けない。

9. 抽 選 平成26年7月1日(火)18:30より行い演技順を決定する。

選手権大会の試技順一覧は抽選結果を入力、確認後参加クラブに郵送される。

◆演技順について

【男子A/Bクラス】東西ジュニア予選大会の1位~15位はⅡ班、16位~30位はⅠ班とする。

【女子Aクラス】東西ジュニア予選大会の1位~15位はⅡ班、16位~30位はⅠ班とする。

【女子C/Bクラス】東西ジュニア予選大会(各15名)合計30名、各々のクラスでⅠ班とする。

※演技順は抽選される。抽選結果は、東西ジュニア選手権大会終了後、各決勝大会エントリーの際に参加申込書とともに配布する。

10. 参 加 料 1名につき 10,000円

11. そ の 他 (1)参加料はその理由の如何を問わず返金しない。

(2)大会期間中に発生した傷害については、その責任をスポーツ傷害保険の範囲内とする。

(3)参加選手のゼッケンはIDカードと共に受付にて配布される。

「個人情報保護について」

本大会にて収集する個人情報は、本法人の個人情報保護宣言を遵守します。

収集した個人情報は、本大会の運営に必要となる参加者の確認と参加クラブとの連絡、大会プログラム(選手名・クラブ名・学年・クラブ連絡先)及び本法人ホームページ(大会結果)に使用し、それ以外の目的には使用しません。

JOCジュニアオリンピックカップ 2014全日本ジュニア体操競技選手権大会要項(案)

主催 (社)全日本ジュニア体操クラブ連盟 (公財)日本体操協会
 主管 神奈川県体操協会 横浜市体操協会
 後援 文部科学省 (公財)日本オリンピック委員会 横浜市 (公財)横浜市体育協会
 (一財)上月スポーツ・教育財団
 協賛 ㈱ササキスポーツ セノー㈱ コカ・コーラ セントラル ジャパン㈱
 リコージャパン㈱

1. 期 日 平成26年8月13日(水) 2部リーダー会議及び審判会議 開始式
 2部競技(団体総合兼個人総合及び種目別)1日目
 14日(木) 2部競技(団体総合兼個人総合及び種目別)2日目
 15日(金) 2部競技(団体総合兼個人総合及び種目別)3日目
 2部表彰式 1部リーダー会議及び審判会議
 1部競技(団体総合兼個人総合及び種目別)1日目
 16日(土) 1部競技(団体総合兼個人総合及び種目別)2日目
 17日(日) 1部競技(団体総合兼個人総合及び種目別)3日目
 1部表彰式 閉会式

2. 大会会場 〒231-0032 神奈川県横浜市中区不老町2-7 横浜文化体育館 ☎045-641-5741

3. 参加資格

区分	男子	女子
年会費	平成26年度の年会費を完納したクラブ	
登録	当連盟に26年度の登録を済ませた者	
選手権1部	①中学2年生から高校3年生 (平成8年4月2日~平成13年4月1日までの間に生まれた者) ②前年度上位4チーム、チーム内選手を含む個人24名シード ③1クラブ最大出場6名(チーム4名/ベスト3+個2) ④チーム補欠は最大2名 ※個人はチーム補欠と兼ねても良い。 ※チーム、個人並びに補欠選手の最終決定は前日公式練習終了後10分以内に書面にて事務局に提出すること。 変更がない場合は提出不要、したがって時間内に提出がない場合の変更は認めない。 ※補欠はチームとの入れ替えのみ可 ⑤個人出場の際は1クラブにつき最大2名	①小学6年生から高校3年生 (平成8年4月2日~平成15年4月1日までの間に生まれた者) ※小学6年生の出場選手については、全日本選手権大会の団体及び個人総合出場年齢下限が、平成14年12月31日生までとなっているため、早生まれの選手は対象外となる。したがって成績が通過圏内であっても予選通過にはならず、全日本ジュニア大会の成績のみとなる。 ②1クラブ最大出場6名(チーム6名/ベスト5) ③チーム補欠は最大2名(チームとの入れ替えのみ可、但し優秀選手はこの限りではない。) ④前年度上位4チームシード ⑤本連盟推薦の優秀選手12名(個人出場可) ⑥個人出場の際は1クラブにつき最大4名 ⑦全日本選手権予選も兼ねているため、CR 2.3(跳馬を除く3種目)以上獲得できる者 ※チーム又は個人いずれかの参加が許される。
選手権2部	①中学1年生から高校3年生 (平成8年4月2日~平成14年4月1日までの間に生まれた者) ②1クラブ最大出場4名(チーム4/ベスト3) ③チーム補欠は最大2名(チームとの入れ替えのみ可) ④個人出場の際は1クラブにつき最大2名 ⑤選手権1部との重複出場はできない。 ⑥前年度1部の出場者であっても出場できる。 ※チーム又は個人いずれかの参加が許される。	①中学3年生から高校3年生 (平成8年4月2日~平成12年4月1日までの間に生まれた者) ②1クラブ最大出場5名(チーム5/ベスト4) ③チーム補欠は最大2名(チームとの入れ替えのみ可) ④個人出場の際は1クラブにつき最大3名 ⑤選手権1部との重複出場はできない。 ⑥前年度1部の出場者であっても出場できる。 ※チーム又は個人いずれかの参加が許される。
参加枠	1クラブにつき1・2部の大会で最大10名の参加が認められる。	1クラブにつき1・2部の大会で最大6名の参加が認められる。
その他	①医師または保護者の承諾を得ること。 ②団体及び個人選手の資格はその範囲とする。 ③本年度東西ジュニア選手権に出場した者は出場できない。	

4. 適用規則及び競技方法

※すべてに於いて「FIG競技規則」を適用する

区分	男子	女子
選手権1部	2013年版採点規則を適用する。(最新号を適用)(団体総合兼個人総合及び種目別) (団体総合兼個人総合及び種目別)	2013年版採点規則を適用する。(団体総合兼個人総合及び種目別:競技I) (団体総合兼個人総合及び種目別)
選手権2部	高体連採用の採点規則(一部変更ルール)を適用する。(団体総合兼個人総合及び種目別) (10技→8技)	2013年版版変更規則IIを適用する。(団体総合兼個人総合及び種目別)

5. 全日本選手権への出場資格について (別添資料参照)

(公財)日本体操協会からの通達により男女とも次の枠内で全日本選手権への資格が与えられる

6. 器具基準 別添資料参照のこと。

7. 表彰 団体総合/個人総合/種目別各々 1~3位/メダル・賞状及び副賞, 4~6位/賞状及び副賞

8. 申込締切 申込書(統括表と個人申込書の両方)に必要な事項を記入し、参加料を添えて6月20(金)必着で現金書留にて送付のこと。 ※締切日以後は受付けない。

(宛先)〒103-0027 東京都中央区日本橋1-16-6 久富ビル4階

(社)全日本ジュニア体操クラブ連盟

9. 抽選 平成26年7月1日(火)18:30より抽選会を行い演技順を決定する。

* 抽選会に参加を希望するクラブは申込締切日までに事務局へ申し出ること。

10. 参加料

区分	男子		女子	
団体出場	1部	1団体 40,000円	1部	1団体 60,000円
	2部	1団体 40,000円	2部	1団体 50,000円
個人出場	1名あたり10,000円			

11. 帯同審判

- 選手権(1部・2部)団体出場クラブは1種の帯同審判を派遣すること。ただし、女子競技は女性に限る。※帯同審判員は必ず(公財)日本体操協会 Web 登録を完了している者に限る。
- 帯同審判を派遣できないクラブは審判委託費(1部・2部/70,000円)を納入のこと。
- 【女子】帯同審判員が多い場合、D2審判員は選出し、それ以外はアシスタントを含むフリー抽選とする。

12. その他

- 参加料はその理由の如何を問わず返金しない。
- チームには最大2名までのコーチをつけることができる。(男性・女性のいずれでも可)
- 大会期間中に発生した傷害についてはその責任をスポーツ傷害保険の範囲内とする。
- 宿泊については宿泊要項にて希望者のみ申し込むこと。(先着順)
- 申込書が不足の場合は各自コピーをして使用すること。
- 参加選手のゼッケンは事前に送付される。
- 参加者数の増減により日程に変更が生じる場合がある。

「個人情報保護について」

本大会にて収集する個人情報は、本法人の個人情報保護宣言を遵守します。

収集した個人情報は、本大会の運営に必要な参加者の確認と参加クラブとの連絡、大会プログラム(選手名・クラブ名・学年・クラブ連絡先)及び本法人ホームページ(大会結果)に使用し、それ以外の目的には使用しません。

平成 25 年 12 月 30 日

(公財) 日本体操協会
審判委員会
体操競技女子審判本部

2013 体操競技女子採点規則修正の通知 (2014 年 1 月版)

2013 年 12 月 13 日付で国際体操連盟より 2013FIG 採点規則の修正が届きました。条項内容の追加、削除、変更がありましたので日本語版採点規則の修正 (2014 年 1 月版) としてここに通知いたします。女子強化本部と協議により、この修正版は 2014 年 1 月 1 日より国内競技会で適用いたします。修正内容を確認のうえ、対応をお願い申し上げます。

1. FIG 通達による、採点規則の変更、修正点 表示解説:【 】で説明。

赤字部分に変更・削除・追加部分

頁	章 節	変 更 前	変 更 後
P2	第 2 章 選手の規則 2.1.2 器械器具に関して 右側ページ 「練習」 2 行目～	予選 (競技 I)、個人総合決勝 (競技 II)、団体決勝 (競技 IV) ・競技規則に従い、それぞれの出場選手 (怪我をした選手の代理も含めて) にすべての種目において、競技直前の演技台上での練習が与えられる。 ・30 秒 段違い平行棒を除いたすべての種目 ・50 秒 段違い平行棒一棒の調節を含めて	【赤字部分変更】 予選 (競技 I)、個人総合決勝 (競技 II)、団体決勝 (競技 IV) ・競技規則に従い、それぞれの出場選手 (怪我をした選手の代理も含めて) にすべての種目において、競技直前の演技台上での練習が与えられる。 ・ 跳馬 (団体と個人のグループ) 競技 I、競技 II、競技 IV 一人 2 回まで 競技 III のための予選 (競技 I)、競技 III は、一人 3 回まで ・一人 30 秒 平均台、ゆか ・一人 50 秒 段違い平行棒一棒の調節を含めて
P2	第 2 章 選手の規則 2.1.2 器械器具に関して 右側ページ 8 行目～	注： 一チームには予選 (競技 I) と団体決勝 (競技 IV) で練習時間の合計が与えられる。チームは最後の選手が練習できるように経過時間に注意しなければならない。	【赤字部分変更】 注： 一チームには 跳馬を除いて 予選 (競技 I) と団体決勝 (競技 IV) で練習時間の合計が与えられる。チームは最後の選手が練習できるように経過時間に注意しなければならない。
P2	第 2 章 選手の規則 2.1.2 器械器具に関して 右側ページ 14 行目～	・練習時間の終了はゴングによって合図される。もしこの時点で、選手が精神的、身体的に跳馬の準備をしていた場合、または器械の上にいる場合、選手はやりかけた技や一連の運動を最後まで行うことができる。練習時間の後や“競技と競技の間”では、器械器具の準備はできる (段違い平行棒では最大 2 名) が使用することはできない。	【赤字部分削除】 ・練習時間の終了はゴングによって合図される。もしこの時点で、 選手が精神的、身体的に跳馬の準備をしていた場合、または器械の上 にいる場合、選手はやりかけた技や一連の運動を最後まで行うことができる。練習時間の後や“競技と競技の間”では、器械器具の準備はできる (段違い平行棒では最大 2 名) が使用することはできない。

P17	第7章 Dスコアに関する規則 7.2 難度点 左側ページ 12行目～	b) D審判団は、技術的な要求を満たせない技を除いた難度を常に承認する。 難度点 ・ A=0.10 ・ B=0.20 ・ C=0.30 ・ D=0.40 ・ E=0.50 ・ F=0.60 ・ G=0.70 ・ H=0.80	【赤字部分追加】 b) D審判団は、技術的な要求を満たせない技を除いた難度を常に承認する。 難度点 ・ A=0.10 ・ B=0.20 ・ C=0.30 ・ D=0.40 ・ E=0.50 ・ F=0.60 ・ G=0.70 ・ H=0.80 ・ I=0.90
P25	第9章 技術の承認 9.1.1 技の技術 左側ページ 22行目～	- 以下の技で伸身姿勢がみられなかった場合、屈身とみなされる。 ・ ひねりを伴わない技 ・ 跳馬	【赤字部分追加】 - 以下の技で伸身姿勢がみられなかった場合、屈身とみなされる。 ・ ひねりを伴わない技 ・ 跳馬 でひねりを伴わない技
P25	第9章 技術の承認 9.1.1 技の技術 左側ページ 25行目	- 2回宙返り（ゆか） ・ 1回目の宙返りで伸身姿勢が保たれ、2回目の宙返りで逆位姿勢（頭が下）になるまで伸身姿勢が保たれなければならない。	【赤字部分変更】 - 2回宙返り（ゆか） ・ 回転の大部分において、伸身姿勢がみられなければならない。
P26	第9章 技術の承認 9.2.2 ひねりを伴うリープ、ジャンプ、ホップの単位 右側ページ 22行目～	定義 リープ 一片足踏み切り、他の足または両足で着地 ホップ 一片足踏み切り、その足または両足で着地 ジャンプ 両脚踏み切り、片足または両足で着地	【赤字部分追加】 定義 リープ 一片足踏み切り、他の足または両足で着地 ホップ 一片足踏み切り、その足または両足で着地 (180度の開脚は要求されない) ジャンプ 両脚踏み切り、片足または両足で着地
P32	第10章 跳馬 10.4.2 種目特有な減点 右側ページ 19行目～	評価 (1回目の跳躍のスコア) + (2回目の跳躍のスコア - 2.00) ÷ 2 = 最終スコア	【赤字部分変更】 評価 [(1回目の跳躍のスコア) + (2回目の跳躍のスコア - 2.00)] ÷ 2 = 最終スコア
P33	第10章 跳馬 10.6 種目特有な実施減点 右側ページ 一番下の段	着地での減点 - 着地で直線方向から外れる（初めての接触で）	【赤字部分削除】 着地での減点 - 着地で直線方向から外れる（初めての接触で）
P35	第11章 段違い平行棒 11.4 組み合わせ点（CV） 左側ページ 27行目～	d) もし内容のない振りや中間振動が2つの技の間に実施された場合、組み合わせ点は与えられない。 - 内容のない振り = 逆方向に振り戻す前の、難度表にある技の実施にはない前振り／後ろ振り。 「シャポシニコヴァ」系と以下の技を除く。	【赤字部分追加】 d) もし内容のない振りや中間振動が2つの技の間に実施された場合、組み合わせ点は与えられない。 - 内容のない振り = 逆方向に振り戻す前の、難度表にある技の実施にはない前振り／後ろ振り。 1回ひねり（360°）を伴うまたは伴わない 「シャポシニコヴァ」系と以下の技を除く。

P35	第11章 段違い平行棒 11.5 構成減点 右側ページ 3行目	内容のない振り -0.30	【赤字部分削除】 内容のない振り -0.30
P35	第11章 段違い平行棒 11.6 種目特有 な実施減点 右側ページ 24行目	中間振動 技の完了角度が不正確 -0.50 -0.10/0.30/0.50	【赤字部分追加・変更】 中間振動 内容のない振り 技の完了角度が不正確 注：この減点項目は、「構成減点」から「種目特有な実施減点」に移動。また、減点が-0.30から-0.50に変更 -0.50 -0.50 -0.10/0.30/0.50
P39	第12章 平均台 12.5 芸術性と 振り付けの減 点（E審判団） 右側ページ 21行目～	構成と振り付け -動きと変化の創造性に欠ける	【赤字部分追加】 構成と振り付け -動きと変化の創造性や多様性に欠ける
P40	第12章 平均台 12.6 種目特有 な実施減点 左側ページ 6行目～	停止（2秒）または技の前の過度な準備動作	【赤字部分変更】 停止（1秒）または技の前の過度な準備動作
P45	第13章 ゆか 13.4 組み合わせ 点（CV） -D審判団 左側ページ 15行目～	混合 すべての組み合わせはリバウンドでなければ ならない	【赤字部分削除】 混合 すべての組み合わせはリバウンドでなければ ならない

【差し替え】

P45 第13章 ゆか

13.5 芸術性と振り付けの減点（E 審判団）

欠 点	0.10	0.30	0.50
芸術的な演技			
－演技全体を通して芸術性に欠ける			
・ 表現力	×		
・ 自信	×		
・ 個性	×		
－演技を通して役やキャラクターを演じることができない	×		
－演技全体を通して技と動きの一連のつながりがない	×		
構成と振り付けと音楽			
－音楽と編集（例えば、オープニング、エンディングまたはアクセントがない）	×		
・ 音楽に構成がない			
－音楽に不適切な動きを選択する 例：“タンゴ”の音楽、しかし“ポルカ”の動きをする	×	×	
－動きと変化の創造性や多様性に欠ける	×		
－床面全体の不十分な使用			
・ 直線、曲線の使用、および方向転換	×		
・ 床面に接する（胴体や腿や頭）動きがない	×		
－360度以上の片足上のターンがない		×	
－1回より多いリープ/ジャンプ/ホップの正面支持臥	(各) ×		

変更・追加削除部分説明：

【赤字部分削除】

11行目 ~~「コーナ=ではっきりとした振り付けがない」=0.10~~

【赤字部分変更】

16行目 「動きと変化の創造性や多様性に欠ける」 -0.10

16行目から19行目に移動

【差し替え】

P46 第13章 ゆか

13.6 種目特有な実施減点（E 審判団）

欠 点	0.10	0.30	0.50
-タンブリングの準備 <ul style="list-style-type: none"> ・ アクロバット系の前に1回より多く両足（バレエの6番）で立つ ・ 腕の動きまたは大きな身体の動きがない単純なステップやランニングを使って、コーナーにつなげる 	(各) ×		
-技の前の停止（1秒）	(各) ×		
-ダンス系の技の前の過度な腕の振り	(各) ×		
-全体を通して身体の姿勢が悪い <ul style="list-style-type: none"> ・ 身体の姿勢、頭の位置 ・ つま先が伸びない、足が緩む、足が内向き ・ 運動の大きさ（身体の動きを最大限に伸ばす） 	× × ×		
-技の配分 <ul style="list-style-type: none"> ・ 演技が始まって直ちにタンブリングに入る ・ アクロラインのあとに同じ対角線で次のアクロラインを行う （1本のアクロラインと判断される場合は許可される） 	× ×		
-終末技を試みない			×

変更・追加・削除部分説明：

【赤字部分下記の文に変更】

12行目～

~~「アクロラインの前の同じ姿勢の繰り返し」~~

~~「(例えば、両足上での静止)」~~

⇒ 「タンブリングの準備」

- ・ アクロバット系の前に1回より多く両足（バレエの6番）で立つ
- ・ 腕の動きまたは大きな身体の動きがない単純なステップやランニングを使って、コーナーにつなげる。

【赤字部分変更】

14行目

「技の前の停止（2秒）」 ⇒ 「技の前の停止（1秒）」

【赤字部分追加】

22行目～

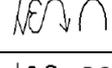
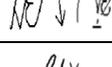
「技の配分」

- ・ 演技が始まって直ちにタンブリングに入る
- ・ アクロラインのあとに同じ対角線で次のアクロラインを行う
（一本のアクロラインと判断される場合は許可される）

2. 難度表の変更・追加・削除

種目	項目	No.		
跳馬	変更	1.51	ロンダート後ろとび1/2ひねり～前転とび1回ひねり	跳躍番号 1.51⇒1.52へ変更
		1.52	ロンダート後ろとび1/2ひねり～前転とび1 1/2ひねり	跳躍番号 1.52⇒1.53へ変更
		1.53	ロンダート後ろとび1回ひねり～倒立回転とび1回ひねり	跳躍番号 1.53⇒1.62へ変更
段違い平行棒	下線部追加	1.210	前とび低棒屈身倒立 <u>(閉脚または開脚)</u> 、または倒立上で1/2ひねり	
		1.310	前とび低棒屈身倒立 <u>(閉脚または開脚)</u> 、倒立上で1回ひねり	
平均台	追加	1.105	絵とシンボル	 
	削除	1.206	台の横に立ち、脚をかかえ込む、または伸ばしたまま台を通過させて脚上挙支持 (2秒)	
	下線部追加	1.311	・・・または踏み切って、引き上げて、後ろに振り上げて (縦向き、横向き) 倒立から下ろして上水平支持 (少なくとも45度) (2秒)、 <u>または脚上挙支持 (2秒)</u> (倒立から・・・)	
		1.411	(踏み切って、引き上げて、後ろに振り上げて) (縦向き、横向き) 倒立1回ひねりから上水平支持 (少なくとも45度) <u>(2秒)</u> 、または・・・	
		3.205	浮脚が台に触れずに、片脚を後に振り上げた前後開脚立ち <u>(180度開脚)</u> 経過1/2ターン (片手は瞬時台に触れてもよい) (イリュージョン)	
	3.405	浮脚が台に触れずに、片脚を後に振り上げた前後開脚立ち <u>(180度開脚)</u> 経過1回ターン (片手は瞬時台に触れてもよい) (イリュージョン)		
追加	3.207	シンボル		
ゆか	削除	1.101	片足踏み切り、1/2ひねりを伴った後ろへの開脚とび (ジュテ・アン・トゥールナン)	
	下線部削除	1.309	片足踏み切り、輪とび (開脚は180度、 <u>前脚は床に平行</u>)	
	下線部変更	2.207	片足上でしゃがみ立ち2回ターン <u>(浮足は自由)</u> ⇒ (浮足は曲げる)	

3. 新技、又は新しい難度

種目	No.		難度	シンボルマーク
跳馬	1.51	ロンダート後ろとび1/2ひねりから前転とび1/2ひねり	Dスコア3.00	
	1.60	ロンダート後ろとび1回ひねりとび	Dスコア3.20	
	1.61	ロンダート後ろとび1回ひねり～倒立回転とび1/2ひねり口	Dスコア3.60	
段違い平行棒	2.606	後方浮支持回転～屈身背面とび越し～高棒懸垂	F	
平均台	1.102	はさみとび、斜めに台を越えて大腿部に座	A	
	4.203	脚上挙支持 (2秒)	B	
	1.108	台の横に立ち、踏み切って屈腕で胸倒立	A	
	5.509	横向き、片足踏み切り、側方開脚伸身宙返り	E	
ゆか	1.409	前へ脚交差した前後開脚とびから輪、1/2ひねり	D	
	5.703	後方伸身2回宙返り1/2ひねり	G	
	5.903	後方伸身2回宙返り2回ひねり	I	

【差し替え表】

平均台

1.102 (ダ)
 台の横へ、片足踏み切り、手支持なしで片足ずつ台を越えて背面支持はさみとび、斜めに台を越えて大腿部に座

1.105 (ダ)
 両足踏み切り、左右開脚座、または開脚屈身(手の支持は認められる)または、台の斜めへ、片足踏み切り、とび上がり前後開脚座(手の支持は認められる)

1.108
 胸倒立を経過した屈腕側方回転、台をまたいだ座へ

台の横に立ち、踏み切って屈腕で胸倒立

1.311
 踏み切って、腰を伸ばして上水平支持(少なくとも45度)(2秒)、または踏み切って、引き上げて、後ろに振り上げて(縦向き、横向き)倒立から下ろして上水平支持(少なくとも45度)(2秒)
 または脚上挙支持(2秒)(倒立から実施する場合は1/2ひねりからでも)

180°

踏み切って、引き上げて、後ろに振り上げて(縦向き、横向き)倒立(2秒)から片手を放して横向きに下ろす、または片足着台(倒立から実施する場合は1/2ひねりからでも)

4.203
 脚上挙支持(2秒)

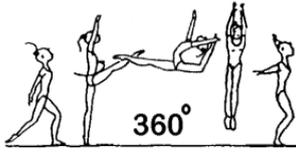
5.509
 両足踏み切り、手支持のない(かかえ込み、屈身)ロンダート

横向き、片足踏み切り、側方開脚伸身宙返り

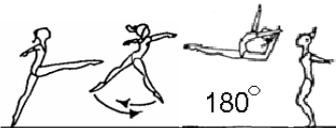
ゆか

1.409

片足踏み切り、前後開脚とび1回ひねりから輪

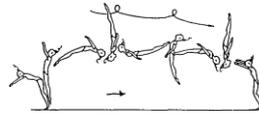


前へ脚交差した前後開脚とびから輪
1/2 ひねり



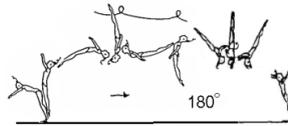
5.603 - F -

後方伸身2回宙返り



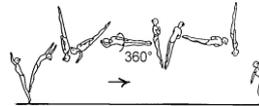
5.703 - G -

後方伸身2回宙返り 1/2 ひねり



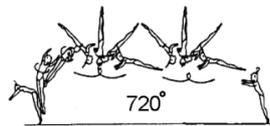
5.803 - H -

後方伸身2回宙返り 1回ひねり

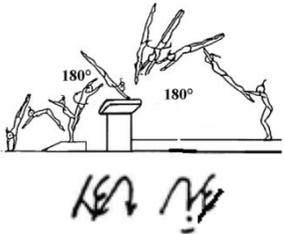
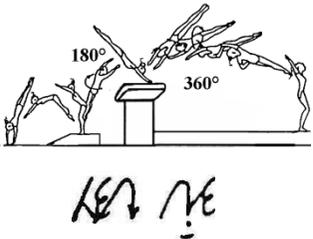
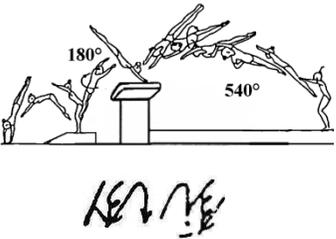


5.604 - I -

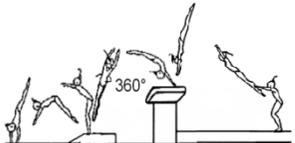
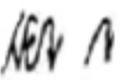
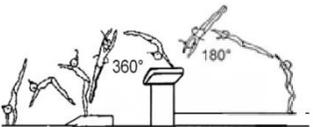
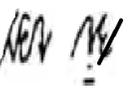
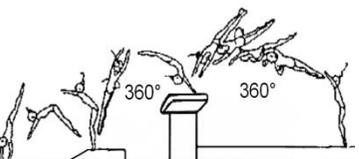
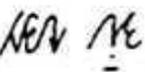
後方伸身2回宙返り 2回ひねり



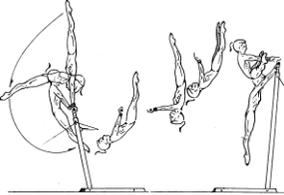
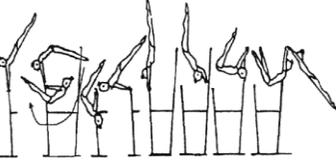
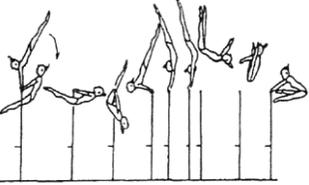
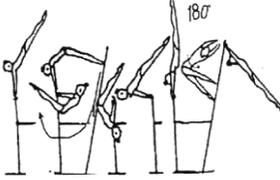
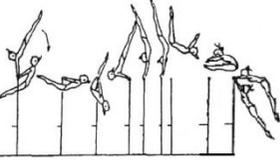
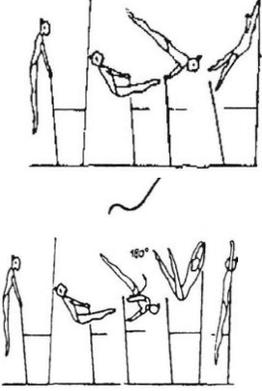
GROUP 1 — HANDSPRING, YAMASHITA, ROUND-OFF WITH OR WITHOUT TURN IN 1ST AND/OR 2ND FLIGHT PHASE

<p>1.40 ロンダート後転とび 2.60 P.</p> 	<p>1.41</p>	<p>1.42</p>	<p>1.43</p>	<p>1.44</p>	<p>1.45</p>
<p>1.50 ロンダート後ろとび1/2ひねり～前転とび 2.60 P.</p> 	<p>1.51 ロンダート後ろとび1/2ひねり～前転とび1/2ひねり 3.00 P.</p> 	<p>1.52 ロンダート後ろとび1/2ひねり～前転とび1回ひねり 3.40 P.</p> 	<p>1.53 ロンダート後ろとび1/2ひねり～前転とび1 1/2ひねり 3.80 P.</p> 	<p>1.54</p>	<p>1.55</p>

GROUP 1 — HANDSPRING, YAMASHITA, ROUND-OFF WITH OR WITHOUT TURN IN 1ST AND/OR 2ND FLIGHT PHASE

<p>1.60 ロンダート後ろとび1回ひねりとび 3.20 P</p>  <p>360°</p> 	<p>1.61 ロンダート後ろとび1回ひねり～ 倒立回転とび1/2ひねり 3.60 P</p>  <p>360° 180°</p> 	<p>1.62 ロンダート後ろとび1回ひねり～ 倒立回転とび1回ひねり 4.00 P</p>  <p>360° 360°</p> 	<p>1.63</p>	<p>1.64</p>	<p>1.65</p>
--	--	---	-------------	-------------	-------------

2.000 – CASTS AND CLEAR HIP CIRCLES

A	B	C	D	E	F/G
<p>2.106</p>	<p>2.206</p>	<p>2.306 低棒、棒下振り出し(足の支持なし)~切り返しを伴った上移動高棒懸垂</p>  <p style="text-align: center;">W</p>	<p>2.406 低棒外向き支持~後方浮支持回転倒立~背面とび出し上移動高棒懸垂 [シャボシニコヴァ]</p>  <p style="text-align: center;">W</p>	<p>2.506 後方浮支持回転~開脚背面とび越し~高棒懸垂</p>  <p style="text-align: center;">R</p> <p>低棒外向き支持~後方浮支持回転倒立~背面とび出し1/2ひねり上移動高棒懸垂</p>  <p style="text-align: center;">R/V</p>	<p>2.606 後方浮支持回転~屈身背面とび越し~高棒懸垂</p>  <p style="text-align: center;">R/V</p>
<p>2.107</p>	<p>2.207</p>	<p>2.307 低棒支持~後方浮支持回転前とび出し(開脚、閉脚)~上移動高棒懸垂、または1/2ひねり上移動高棒懸垂</p>  <p style="text-align: center;">W</p>	<p>2.407</p>	<p>2.507</p>	<p>2.607</p>

■ 採点規則集の補足説明

◇ 跳馬について

(ア)跳馬の練習の回数は、線審が数える。

解説：但し、練習時間の確認はD審判団が管理する。(5.4.1 d) 参照)

練習の数え方、下記の実施も回数に含まれる。

- ・助走路上の助走
- ・跳躍板からのジャンプ
- ・テーブルの上から宙返りを行う
- ・跳躍

(イ)もし選手が、助走を全く試みなかった場合、“得点なし”とみなし、順位も出ない。

“得点なし”：

- ・助走をしなかった
- ・立ったまま跳躍台や跳躍板に触れる、または審判員に挨拶をする

(ウ)選手が助走し、セーフティーカラーに触れた場合、「跳躍板や器具に触れた」とみなす。

解説：この「跳躍板や器具に触れた」とみなした場合、「10.4.3 無効となる跳躍」の一助走をして、とび越すことなく跳躍板や跳躍台に触れるとして適用する。

(エ)種目別決勝のための予選（競技Ⅰ）または種目別決勝（競技Ⅲ）において、2回連続して走り抜けてしまった場合、1回目の跳躍は「得点なし」と認定され、2回目の跳躍は許可されない。

◇ 段違い平行棒について

(ア)5.105 前方足裏支持回転（屈身、開脚）、5.106 大逆手前方足裏支持回転（屈身、開脚）、5.108 後方足裏支持回転（屈身、開脚）

もし、実施中に膝が曲がっても難度（A）は承認する。ただし、膝の曲がりの減点0.1/0.3/0.5を適用する。

(イ)「シャポシニコヴァ」系の特例（内容のない振りの減点は適用しない）は、ひねりを伴わない、または1回ひねり（360°）を伴うシャポシニコヴァ系に適用し、1/2ひねりを伴うシャポシニコヴァ系は適用しない。

(ウ)内容のない振り／中間振動

もし、「内容のない振り」または「中間振動」があった場合、同時に「膝の曲がり」

「腕の曲がり」、「前振りまたは後ろ振りが水平より低い」などの減点があったとしてもその減点は適用しない。例えば「中間振動」になった際に足が器械にあたった場合でも「中間振動-0.50」のみの減点となる。

◇ 平均台について

(ア)横向きでの動きがない（技ではない）

動きの組み合わせの一部として、少なくとも一つの動きが移り変わらなければならない。（例えば、その場所で腕の動きを実施しながら、他の空間へ動きながら移行して行く）

(イ)伸身宙返り

技術（例えば、回転時、重心の上昇が見られる、伸身姿勢が長く保たれている）が不足している場合、一つ下の難度EからDとなる。

(ウ)1.311

1.311 (踏み切って、引き上げて後ろに振り上げて) (縦向き、横向き) 倒立 (2秒) から片手を放して横向きに下ろす (倒立から実施する場合は1/2ひねりからでも) もし、横向きに下ろす時、片足で着台をしてもC難度と承認される。

(エ)前後開脚とびから輪

平均台/ゆかにおいて：片足踏み切り、輪とび (開脚は180度) についての難度承認は、第9章に則って輪の姿勢の時の前脚の位置で承認が判断される。

(オ)1.105

1.105 両足踏み切り、左右開脚座、または開脚屈身 (手の支持は認められる) または、台の斜めへ、片足踏み切り、とび上がり前後開脚座 (手の支持は認められる) は、最後の姿勢で手の支持なしで開脚を見せなければならない。(開脚屈身の場合、平均台に胴体が触れた状態にならない)

☆ ゆかについて

(ア)1.404

1.404 前へ脚交差した前後開脚とび1回ひねりでもし、振り上げ脚が曲がった場合、1.301片足踏み切り、前後開脚とび1回ひねり (C) となる。

(イ)ゆかの練習時間について

ゆかにおいて：もし、1班3名以下の選手になった場合でも、1分30秒は確保される。

4. 変更規則について

(ア)変更規則Ⅱ< A (0.10) の難度を認められる要素>について、下記の赤字部分を削除

~~＝段違い平行棒~~

~~・足裏支持前方回転 (かかえ込み)~~

~~・足裏支持後方回転 (かかえ込み)~~

(イ)変更規則Ⅱ 構成要求を以下のように部分変更する。について、下記の赤字部分を変更
<段違い平行棒>

2. 空中局面を伴う技 (中技のみ、構成要求1とは兼ねられない)



2. 空中局面を伴う技 (終末技は除く、構成要求1とは兼ねられない)

2013 FIG Vault Table

GROUP I	GROUP II	GROUP III	GROUP IV	GROUP V
1.00 2.40	C-I: One vault must be performed. This vault score counts for Team & AA Total. If the gymnast has been registered in the Start list to qualify for C-III, a 2nd vault must be performed. Score of both vaults averaged = Final score. C-IV, C- II: One vault must be performed. C-III: The 2 vaults must be from different groups and may not have identical 2nd flight phases.			
1.01 2.80				
1.02 3.20				
1.03 3.60				
1.04 4.00				
1.05 4.50				
1.10 2.60	2.10 4.40	3.10 4.00	4.10 3.80	5.10 4.60
1.11 3.00	2.11 4.80	3.11 4.30	4.11 4.10	5.11 5.00
1.12 3.40	5.20	3.12 4.60	4.12 4.40	5.40
	2.12 5.30	3.13 4.90	4.13 4.70	5.12 5.50
	2.13 5.70	3.14 5.40	4.14 5.20	5.13 5.90
1.20 2.40	2.20 4.60	3.20 4.20	4.20 4.00	5.20 4.80
1.21 3.00	2.21 5.00			5.21 5.20
1.22 3.40	5.40			5.60
1.23 3.80	2.22 5.50			5.22 5.70
1.24 4.20				
1.30 3.20	2.30 5.00	3.30 4.60	4.30 4.40	5.30 5.20
1.31 4.00	2.31 5.40	3.31 4.90	4.31 4.70	5.31 5.60
	2.32 5.80	3.32 5.20	4.32 5.00	5.32 6.00
1.40 2.60	2.33 6.20	3.33 5.50	4.33 5.30	5.33 6.40
		3.34 6.00	4.34 5.80	
		3.35 6.50	4.35 6.30	
1.50 2.60	2.40 5.20		4.40 4.60	
1.51 3.00	2.41 5.40		4.41 4.90	
1.52 3.40			4.42 5.20	
1.53 3.80	2.50 7.00		4.50 4.80	
1.60 3.20			4.51 5.20	
1.61 3.60			4.52 5.50	
1.62 4.00			4.53 5.80	

	↘	A - .100	B - .200	C - .300	D - .400	E - .500	F - .600	G - .700
1. ↑	01	L L						
	02	U U	∩					
	03	∠ ∠	∠ ∠					
	04	∩ ∩	∩ ∩	∩				
	05	∩						
	06	∩	∩ ∩	∩				
	07		∩ ∩	∩ ∩	∩			
	08		∩ ∩	∩ ∩	∩ ∩			
	09				∩ ∩	∩ ∩		
	10		∩ ∩	∩ ∩	∩			
	11				∩ ∩	∩ ∩		
2. ∩	01	∩	∩ ∩ ∩	∩	∩			
	02		∩ ∩	∩ ∩				
	03			∩ ∩	∩ ∩	∩ ∩		
	04	∩			∩ ∩	∩ ∩		
	05	∩ ∩		∩ ∩	∩ ∩	∩ ∩		
	06			∩ ∩	∩ ∩	∩ ∩	∩ ∩	
	07			∩ ∩	∩ ∩	∩ ∩	∩ ∩	
3. ∩	01		∩ ∩ ∩	∩	∩ ∩ ∩			
	02				∩ ∩	∩ ∩		
	03				∩ ∩	∩ ∩	∩ ∩	
	04			∩	∩	∩	∩	
	05				∩ ∩ ∩	∩ ∩ ∩		∩ ∩ ∩
	06		∩ ∩	∩ ∩	∩ ∩	∩ ∩		∩ ∩ ∩
	07			∩ ∩	∩ ∩			
	08			∩ ∩ ∩	∩ ∩ ∩	∩ ∩ ∩		∩ ∩ ∩
	09			∩ ∩ ∩	∩ ∩ ∩			∩ ∩ ∩
	10			∩ ∩	∩ ∩	∩ ∩		∩ ∩ ∩

	↘	A - .100	B - .200	C - .300	D - .400	E - .500	F - .600	G - .700
4. X	01	⊗	∩	∩ ∩	∩ ∩			
	02		⊗	∩ ∩	∩ ∩	∩ ∩	∩ ∩	
	03	⊗			∩ ∩	∩ ∩	∩ ∩	
	04	⊗		∩ ∩	∩ ∩	∩ ∩	∩ ∩	
	05			∩ ∩	∩ ∩	∩ ∩	∩ ∩	
	06	⊗			∩ ∩	∩ ∩	∩ ∩	
	07	⊗			∩ ∩	∩ ∩	∩ ∩	
	08			∩ ∩	∩ ∩	∩ ∩	∩ ∩	
	09			∩ ∩	∩ ∩	∩ ∩	∩ ∩	
5. ∩	01	⊗		∩ ∩	∩ ∩	∩ ∩	∩ ∩	
	02		∩	∩ ∩	∩ ∩	∩ ∩	∩ ∩	
	03			∩ ∩	∩ ∩	∩ ∩	∩ ∩	
	04	∩		∩ ∩	∩ ∩	∩ ∩	∩ ∩	
	05	∩		∩ ∩	∩ ∩	∩ ∩	∩ ∩	
	06	∩		∩ ∩	∩ ∩	∩ ∩	∩ ∩	
	07		∩ ∩	∩ ∩			∩ ∩	
	08	∩		∩ ∩	∩ ∩	∩ ∩	∩ ∩	
	09				∩ ∩	∩ ∩	∩ ∩	∩ ∩
6. ↓	01	∩ ∩	∩ ∩	∩ ∩	∩ ∩	∩ ∩	∩ ∩	
	02	∩ ∩		∩ ∩	∩ ∩	∩ ∩	∩ ∩	
	03			∩ ∩	∩ ∩	∩ ∩	∩ ∩	
	04	∩ ∩	∩ ∩	∩ ∩	∩ ∩	∩ ∩	∩ ∩	
	05		∩ ∩	∩ ∩	∩ ∩	∩ ∩	∩ ∩	∩ ∩
	06				∩ ∩	∩ ∩	∩ ∩	∩ ∩
	07				∩ ∩	∩ ∩	∩ ∩	∩ ∩
	08	∩ ∩	∩ ∩	∩ ∩	∩ ∩	∩ ∩	∩ ∩	∩ ∩
	09		∩ ∩	∩ ∩	∩ ∩	∩ ∩	∩ ∩	∩ ∩
	10		∩	∩ ∩	∩ ∩			∩ ∩

	A-100	B-200	C-300	D-400	E-500	F-600	G-700
1.01							
1.02							
03							
04							
05							
06							
07							
08							
09							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							

	A-100	B-200	C-300	D-400	E-500	F-600	G-700
2.01							
02							
03							
04							
05							
06							
07							
08							
09							
10							
11							
12							
3.01							
02							
03							
04							
05							
06							
07							
08							
4.01							
02							
03							
04							
05							
06							
07							
08							
09							
10							
11							

	A-100	B-200	C-300	D-400	E-500	F-600	G-700
5.01							
02							
03							
04							
05							
06							
07							
08							
09							
10							
11							
12							
13							
14							
6.01							
02							
03							
04							
05							
06							
07							

FIG-WTC November 2013

	A - .100	B - .200	C - .300	D - .400	E - .500	F - .600	
1. □	01						
	02						
	03						
	04						
	05						
	06						
	07						
	08						
	09						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
2. ○	01						
	02						
	03						
	04						
	05						
	06						
	07						
	08						

	A - .100	B - .200	C - .300	D - .400	E - .500	F - .600	G - .700	H - .800	I - .900
3. □	01								
	02								
	03								
	04								
	05								
	06								
	07								
4. □	01								
	02								
	0.3								
	04								
	05								
5. □	01								
	02								
	03								
	04								
	05								
	06								

C- I、II、III、IV

# 跳躍番号		# 実施した跳躍		# 跳躍番号		# 実施した跳躍	
背番号		Dスコア		背番号		Dスコア	
		減点合計				減点合計	
		最終得点				最終得点	
# 跳躍番号		# 実施した跳躍		# 跳躍番号		# 実施した跳躍	
背番号		Dスコア		背番号		Dスコア	
		減点合計				減点合計	
		最終得点				最終得点	
# 跳躍番号		# 実施した跳躍		# 跳躍番号		# 実施した跳躍	
背番号		Dスコア		背番号		Dスコア	
		減点合計				減点合計	
		最終得点				最終得点	
# 跳躍番号		# 実施した跳躍		# 跳躍番号		# 実施した跳躍	
背番号		Dスコア		背番号		Dスコア	
		減点合計				減点合計	
		最終得点				最終得点	
# 跳躍番号		# 実施した跳躍		# 跳躍番号		# 実施した跳躍	
背番号		Dスコア		背番号		Dスコア	
		減点合計				減点合計	
		最終得点				最終得点	

